

高速道路「特別転回」

JJ1SXA/池

高速道路で目的のICを通り過ぎてしまった、さあどうする？

「しまった」ということでパニックに陥り、とんでもない行動に出てしまう、これが、特に高齢ドライバーに多く見受けられるようです。

その場合、慌てず、騒がず、うまい対処方法があるのです、それが本題の高速道路「特別転回」という制度です。

次のICまでそのまま走り、降ります、料金所の「一般」レーンに入り、係員に事情を話して通行券に「特別転回」の承認印を捺してもらいます。

料金所を出てすぐUターン路がある場合と、一般道まで進んでからUターンする場合がありますので、係員の指示に従い、IC入口料金所の一般レーンで再度事情を話します。

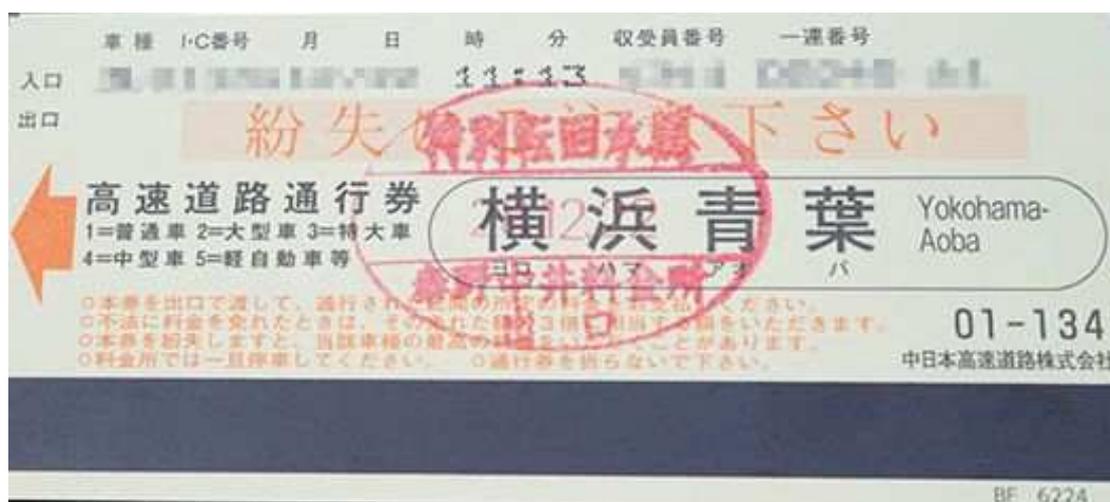
本来降りるICまで高速道路を通して引き返すことができ、乗り間違えた分の料金は払わなくても良いようです。

ETCの場合はカードを抜いて、一般レーンでETCカードを提示して係員に事情を話し、カードを抜いたまま、係員の指示に従ってUターン、IC入口料金所の一般レーンでETCカードを提示、入口のゲートを過ぎたらETCカードを本体にセットして目的のICから出れば良いようです。

ICの降り間違いによってかかる時間は戻ってきませんが、特別転回をすれば、無駄な出費は抑えられます、目的のICを通り過ぎててもあわてず、次のICまで走りましょう。

対応できないICもあるようですので100%OKとは言えませんが、知っていて損はしないテクニックです。

根拠は、「高速道路営業規則 第7章 特別な通行をした場合の料金」です。



「特別転回承認」印が捺された通行券の例示です